

図書案内

2020 年

6月号

担当

3-2 山

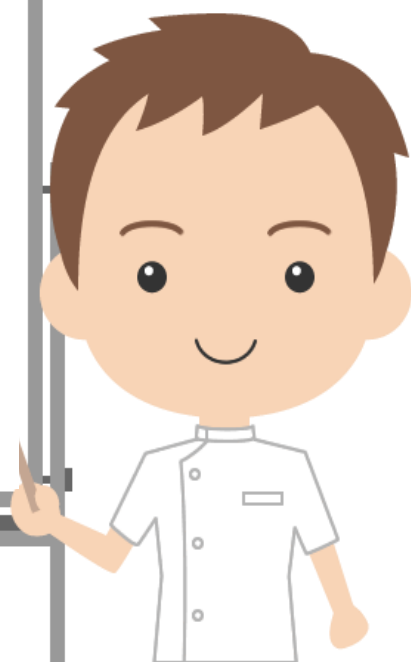
3-6 柳沢

暮らしを支える医療の本

6月になり、ようやく学校が再開しました。長い自粛期間が明けて、上手にスタートダッシュを切れましたか？
迫りくるスケジュールに忙殺されてはいませんか？

今回は、医療にまつわる本を紹介します。掲載された本の中には、図書館内でしか読めない特別な本も……。疲れた時には無理をせず筆を置いて、図書館に足を運んでみてください。読書はきっと、あなたの心の癒しになります。

本の貸出、閲覧は図書館で行っています。



『天久鷹央の推理カルテ』 知念実希人

天医会総合病院で、患者たちが語る不思議な事件。その謎を、そしてその裏に潜む病気を、天才女医・天久鷹央が“診断”していく。

現役の医師が確かな見地から紡ぐこの医療ミステリーは、意外性の連続です。天久鷹央の恐るべき明晰ぶりに変人ぶりで、物語はとどまることを知りません。すらすら読めること間違いなし。(柳沢)

お前の病気(ナゾ)、私が診断してやろう。



『イン・ザ・プール』 奥田英朗

伊良部総合病院の地下一階で診察している精神科医・伊良部一郎。腕は良いがとびっきりの変人である。多種多様な悩みを抱えた患者たちをコンプライアンスに引っかかりそうな方法で治療していく痛快医療コメディ。

毎日の疲れがとれない人、クスッと笑いたい人、ちょっとした悩みがある人におすすめの一冊です。読めばあなたも伊良部ワールドの虜になること間違いなし！(山)

じゃあ、注射しようか。



『最後の医者は桜を見上げて君を想う』 二宮敦人

もしあなたが余命宣告をされたとき、あなたは「生」と「死」のどちらを選びますか。

患者の気持ちを第一に考え、死を選び余生を楽しむことも選択肢とする医師・桐子と、奇跡を信じ、最後まで生き抜くことをあきらめない副院長・福原が紡ぐ命の物語。

患者にとって最も正しい選択とは何なのか？ 命について見つめ直すきっかけをくれる、涙なしには読めない感動的なストーリーです。(山)

奇跡の存在を患者に押し付ける。それがどれだけ残酷なことか、わかっているのか？



『ブラック・ジャック 全12巻』 手塚治虫

半分白髪、顔に縫い目のある奇妙な無免許医「ブラック・ジャック」が、数々の難病奇病に自らの腕のみで立ち向かう物語。

手塚治虫先生の、言わずと知れた名作。色褪せないキャラクターの造形やストーリー性は手にとって初めて分かるものだと思います。この漫画、実は図書館に置いてあります。短編作品だから、どこから読んでもOK。細かな文字が苦手なら、まずはここからどうぞ。(柳沢)

医者は人間の病気をなおして命を助ける！ その結果世界じゅうに人間がバクハツ的に増え、食糧危機がきて何億人も飢えて死んでいく…… そいつがあなたのおぼしめしなら…… 医者はなんのためにあるんだ

読書をする人は長生きする！？

多くの人は、読書と健康には全く関連性がないと思うでしょう。ところが最近の研究によって「読書をする」と長寿になるということが明らかになってきました。

アメリカ・イェール大学のベッカ・R・レヴィー博士が行った研究によると、読書を一日30分以上行う人は、全く読書しない人より23%も死亡リスクが下がり、平均で2年間も寿命が延びたという結果が発表されました。屋内で過ごすため外でのトラブルに遭いにくい、社会に対する知的好奇心が刺激され活動的になる、など要因には諸説ありますが、読書することは長寿に繋がるようですね。

休校期間が終わった今こそ、健康のために新たな趣味として読書を始めてみるのはいかがでしょうか？ 「知のワンダーランド」が橋を渡った先であなたを待っていますよ！

【記事出典】https://www.huffingtonpost.jp/2016/08/29/who-read-books-live-longer-than-those-who-dont_n_11757836.html

